

学 校 だ よ り

平成27年 6月 1日



6月号

NO 3 1 6

横浜市立茅ヶ崎小学校
校 長 岩 本 悦 子

本 の 世 界 へ

副校長 山 内 容 子

1年生の東方公園遠足、2年生の野毛山動物園遠足、4年生の愛川宿泊体験学習、6年生の日光・岩宿修学旅行が無事に終わりました。校外での様々な体験を通して子どもたちは成長し、仲間づくりや集団生活の大切さも学びました。

学校周辺のアジサイの花も色づき始め、もうすぐ梅雨の季節がやってきます。晴天に恵まれ、今まで野外での活動は順調に行われてきましたが、梅雨になると屋内での活動が多くなります。そこで、雨の多い季節を迎えるにあたり、読書の楽しさを認識したいものです。

「読書の秋」という言葉から、読書のイメージは秋と思われがちですが、「こどもの読書週間」は、4月23日から5月12日。年度初めに読書の習慣を、ということです。今年度は“本はキラキラ万華鏡”という標語も設定されています。横浜市は昨年度より、毎月23日を「市民読書の日」と定めています。読書は季節のものではなく1年間を通してするもの、そして生涯学習としてとらえ推進することを大切にしていることがうかがえます。

本校でも学校司書が、図書室で子どもたちの本選びや学習支援、貸し出し業務などを担当しています。図書室の電算化により、貸し出しや検索などが簡単に短時間で行えるようになるなど環境は整っています。「お話ピエロ」の皆さんによる読み聞かせなどの取組も、子どもたちに本の楽しさを伝える活動として貴重なもののひとつです。

梅雨の季節をきっかけに、子どもたちが本の世界に目を向けて、充実した時間を過ごしてほしいと思います。本の中味を楽しみにするだけでなく、心を豊かにしてくれるよきツールとして、息の長い実践を保護者の皆様と共に進めていきたいと考えています。



雨が降るとき、風邪ひいて／好きな遊びが出来ぬとき、／
子どもよ、書物をお読みなさい／書物はあなたを連れてゆく、／
海山こえていく千里／知らない国や遠い国。／
見たこともない人たちや、／また、珍しい動物が、／あなたと遊び、話する。／
書物を読めば、友だちは／いつも出てくる、目の前に。

(西条八十 少年詩集「書物」より)

